

第11回生存科学シンポジウム

「野生動物との 共存」

2026年
1月10日(土)

14:00～17:00

オンライン開催

参加費 無料

どなたでも参加できます

生存科学研究所が目指す「総合的人間学」を発展させるためには、人類の生存とともに、人類以外の動植物、とくに、哺乳類動物や魚類の生存・共存とともに論じなければならないと考えます。人類の生存の権利は、それらの動植物の生存の権利を無視・拒否して、一方的に成り立つわけではないという思想です。今回のシンポジウムでは、「野生動物との共存」というテーマを初めて取り上げることにしました。人類の生存について、諸生物の生存のあり方に多様な思いを深め、実り豊かな成果が得られることを期待します。

プログラム

座長：鬼頭 秀一
松下 正明

14:00～14:15 開会の挨拶とシンポジウムの趣旨説明

生存科学研究所理事長(東京大学名誉教授) 松下 正明

14:15～14:45 環境倫理から見た「保護」と「管理」の狭間

ー野生動物と人間との距離感を歴史的に捉え返す

東京大学名誉教授 鬼頭 秀一

14:45～15:15 野生動物管理学からみた大型獣の生息状況と課題

:特にシカについて

東京農工大学名誉教授 梶 光一

15:15～15:45 増加力を取り戻したツキノワグマの保全管理の現状と課題

:新たな体制構築の必要性

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所教授 横山 真弓

15:45～16:15 野生鳥獣に負け始めた日本:人と野生動物の利用しあい、恐れあう関係

横浜国立大学名誉教授 松田 裕之

16:15～16:25 休憩

16:25～16:55 パネルディスカッション

16:55～17:00 閉会の挨拶

生存科学研究所副理事長(人間総合科学大学大学院教授) 丸井 英二



申し込み
フォーム

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_HTTP1LaTcRcKUBgACQ9O2uQ

主催: 公益財団法人生存科学研究所 お問合せ: office@seizon.or.jp

